

ワクチンの接種体制を整えました

津市長 前葉 泰幸



本年2月、国は新型コロナウイルスに対応する医療従事者へのワクチン接種を国立病院機構など全国100カ所の病院で先行して始めました。3月からは県が一般の医療従事者への優先接種を進めており、4月には限定的ながら市町村が実施する住民接種も始まりました。

厚生労働省が市町村向けにワクチン接種に関する説明会を初めて開催したのは昨年12月中旬。当時、医療従事者に次いで65歳以上の高齢者を対象とした住民への優先接種が始まるのは3月下旬と見込まれており、自治体には年度内を目途とした接種体制の確保が求められました。

津市は予防接種を担当する健康づくり課に1月に3人、さらに2月に8人を増員し「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を創設。組織体制の整備と並行して高齢者施設側との合意形成を進め、2月1日にはいち早く高齢者施設の入所者への接種を施設内で行う方針を発表するなど、接種体制の構築を急ぎました。

政府のワクチン調達計画に狂いが生じ、それまで自治体に早めの準備を要請していた国の姿勢に変化が現れたのはその頃です。EU(欧州連合)のワクチン需給がひっ迫し、米英製ワクチンの輸入に頼る日本は接種スケジュールの見直しを余儀なくされました。会議を重ねるごとに国の担当官の歯切れが悪くなり、ついに3月下旬からの高齢者向け接種予定は4月以降にずれ込むことになりました。それでもワクチンへの期待から接種日程に関するお問い合わせが途切れることはなく、国から具体的な情報が入らず計画の策定もままならない市町村は返答に苦慮するばかりでした。

ようやくワクチン配給第1弾の内容が明らかに

なったのは3月に入ってからです。国から三重県内の市町に出荷されるのは4月5日の週に2箱、12日の週に10箱、19日の週に10箱、合計22箱であることが通知され、29市町村への配分は県の判断に委ねられました。

津市には4月5日の週に届く第1便の2箱のうち1箱が割り当てられました。1箱には487人が2回接種を受ける分量のワクチンが入っていますが、優先接種の対象となる昭和32年4月1日以前にお生まれになった津市在住の高齢者は8万5,000人いらっしゃいます。初めて届くワクチンはその0.5%分とごくわずかなことから、接種開始日の4月12日は介護老人保健施設の入所者の方々を優先することになりました。

4月26日の週には全国の市町村にそれぞれワクチン1箱が届き、5月の連休明けからは供給が潤沢になることが予想されます。配給体制も自治体の接種スピードに応じたものに切り替わりますが、16歳以上の全ての市民23万人を対象とした前例のない大規模接種を遅滞なく進めるためには特別の体制を整備する必要があります。

津市は、集団接種会場として、①津センターパレス、②イオンモール津南、③久居インターガーデンの3カ所を選定し、医師会、薬剤師会など医療関係者のご協力の下、接種体制を整えました。さらに、巡回型の集団接種会場を地域の公共施設内に設置します。個別接種には125の協力医療機関から合意をいただきました。

4月からは接種券の発送も順次行い、あとはワクチンの到着を待つばかりとなりました。今後は5月13日からの接種開始に向け、対象となる方への迅速かつ正確な情報発信に努めてまいります。接種可能な場所と日時、予約開始日とその方法など、本誌・広報津はもとより、市のホームページ、ケーブルテレビの行政情報チャンネル、町内回覧など、多様な媒体を使ってご案内します。

感染拡大を抑え、感染症収束への道筋をつけるためには速やかに住民接種を進めることが何より大切です。住民の皆さまのご協力をいただきながら全力で取り組んでまいります。

ケーブルテレビ123chと津市ホームページでは、前葉市長がこのテーマについて語ります



津市長コラム

検索

市長の活動日記から

第11回ロケーションジャパン大賞授賞式…2月18日

最も地域を沸かせ、人を動かした作品・地域に贈られるロケーションジャパン大賞で、「浅田家! ×津市」がグランプリを獲得。津市からリモートで喜びの声を届けました。



退職者辞令交付式(津リージョンプラザ)…3月31日

感染リスクを避けお城ホールで退職辞令を交付。71人の市政への貢献に感謝を申し上げ、皆様のご健勝とこれまで培われた経験と見識を生かした今後のご活躍を祈念します。



「市長活動日記」は津市ホームページでご覧になれます

津市長活動日記

検索